

相模原・町田地域教育連携プラットフォーム

中期計画

1. 相模原・町田地域教育連携プラットフォームについて

正会員

大学等	青山学院大学、和泉短期大学、桜美林大学、北里大学、相模女子大学・相模女子大学短期大学部、サレジオ工業高等専門学校、昭和薬科大学
自治体	神奈川県相模原市、東京都町田市
事業者等	相模原商工会議所、町田商工会議所

オブザーバー会員

大学等	玉川大学
-----	------

2. 相模原・町田地域における課題

(1) 基本データ

		相模原市	町田市
面積		328.91 km ²	71.55 km ²
人口 (2024年1月)		724,774人	430,380人
人口構成	65歳以上	26.9%	27.3%
	15-64歳以下	62.1%	61.2%
	0-14歳以下	11.0%	11.5%
大学・短期大学数		7校	8校

(2) 地域課題

自治体、事業者、地域の教育関連組織との意見交換、協議の上、プラットフォームとして本中期計画における主な課題を以下の通りと考える。

① 大学間の連携等の横の連携によるリソース活用

各自自治体と各大学等との連携は徐々にでき始め、各事業を実施しているが、地域内の大学間や組織間での連携が弱く、連携することでより各組織のリソースを活用することができる。

② 関係人口の増加

人手不足、採用難の中での地域での継続的な就労者の確保等が課題となっている。また、大学等との連携によるリカレント教育の実施、市民向け公開講座の充実、小中高生向け教育コンテンツの展開を行うことで継続的に地域に関わる人材を増やしていく必要がある。

(3) 共同 IRによる就職関連データ分析

地域課題を分析するために、本プラットフォーム大学等会員における就職状況のデータの収集・集計を行った。(対象：2023年度卒業生、相模原市・町田市のキャンパスの学生であり、就職した学生)

全体	<ul style="list-style-type: none">・就職者に対する神奈川県出身者は 44.4%、東京都出身が 23.9%、相模原市・町田市に限定した場合はそれぞれ 6.3%、2.2%であった。・卒業者の就職先は神奈川県・東京都だけで約 7 割となり、企業等就職先の偏りは顕著である。・出身者が出身地（地元）に就職した割合は、神奈川出身者は 42.6%、東京都出身者は 75.6%と多くを占めていた。また、相模原市出身者は 13.6%、町田市は 10.3%となっているが、大学間での差が非常に大きく、今回の数値だけでは傾向等を判断するのは難しいと思われる。
職種	相模原市と町田市については、就職者数の多い順で相模原市は 4 位まで、町田市は 3 位までが 1 つの大学の出身者が占めており、各大学で養成される人材による影響が非常に大きく反映されていると考えられる。
業種	相模原市と町田市については、就職者数が多い順で上位の業種は大半を 1 つの大学出身者が占めており、職種と同様に各大学で養成される人材の影響が大きいと考えられる。
総評	<ul style="list-style-type: none">・調査データについては、出身地を高校所在地としたこと、及び就職後の配属地が未定の場合の就職先所在地を本社所在地としたため精度としては若干低いと思われるが、既存のデータを活用しての集計・分析のためやむを得ない状況と考える。・本プラットフォームには、人材養成目的、入学者の出身地域、地域との連携の歴史等、様々な背景を有する大学が参加しており、就職に関してプラットフォームとしての傾向を把握することは困難であったことから、本データを用いてプラットフォームとしてどう対応していくかという議論は難しいように思われる。・一方で、大学間で見えた場合は特色が表れており、それぞれの大学の立ち位置や使命を明確にすることで、各大学が考える将来像（大学と地域がどうあるべきか）に照らしてみても参考になる指標と考えられ、そこには一定の意義があったと判断する。・今後の本 IR の活動としては、例えば当該地域の実際の求人規模等のデータに基づき、その需要にたいしてプラットフォーム参加大学がどれほど貢献できているのか等、自治体や商工会議所を含めたプラットフォーム内で相互のデータを持ち寄り、その資料をもとに議論していくという方向性が考えられる。

以上の IR 分析結果もふまえ、以下のビジョンや中期計画を策定し、引き続き課題解決のために取り組むこととした。

3. 相模原・町田地域における高等教育のビジョン

神奈川県相模原市と東京都町田市を生活圏とする地域の大学、自治体、産業界等は相互に連携・協働して、地域における課題を解決に取り組み、地域の維持発展に寄与するため、産官学連携によるプラットフォームを組織する。公開講座、リカレントプログラム、教育支援活動等を共同で開発・実施するなど、地域社会のニーズを踏まえた質の高い教育の機会を確保し、異なる分野に強みを持つ大学がそれぞれのリソースを持ち寄り、

地域の発展や地域人材を育成する。

【プラットフォームに期待される事項】

- ・産官学が保有する資源の有効活用
- ・地域課題の抽出、調査研究
- ・地域課題を解決できる人材の育成
- ・地域活性化に貢献できる人材の育成

【プラットフォームの最終目標】

「地域で輝く！さがまち®人材の輩出」

「地域社会を支える“基盤”となる体制構築」

…リスクマネジメント体制の構築・共同研究・施設・設備の共同利用

「地域社会の円滑な発展を支える“ハブ”となる」

…共同研究・人事交流・キャリア支援活動

「地域社会のあらゆる学びの“拠点”となる」

…大学間における教育連携・高大連携・教育支援活動・公開講座・キャリア形成支援プログラム

「地域社会を支える“市民“の育成」

…共同FD・SD・共同IR・キャリア形成支援プログラム・就職セミナー・地域交流イベント

4. 中期計画

(1) 計画期間

2023年9月から2028年度末までの5年半とする。

なお、大学等を取り巻く環境や社会情勢の変化等を踏まえ、計画期間の途中段階においても、適宜、検証と見直しの機会を設けることとする。

(2) 基本方針

- ・異なる分野に強みを持つ大学等がそれぞれのリソースを持ち寄り、相模原・町田地域における課題解決や人材育成に貢献する。
- ・各事業の実施において、大学等、自治体、事業者等の連携をさらに強化し、地域の発展に寄与する知のネットワークを構築する。

(3) 本計画に係るアウトカム指標

- ・本プラットフォームが実施する事業における参加者の満足度について、各年80%以上
- ・大学等における「地域企業等への就職割合」及び「地域からの入学者割合」を前年度比1%増

(4) 具体的な取組と目標

- ①プラットフォームの構築、体制整備

目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの充実、機能強化 相模原・町田地域におけるプラットフォームの認知度向上 	
	取組	活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> 地域における「高等教育のグランドデザイン」の検討 構成組織間で相模原・町田地域における高等教育の将来像を共有するため、当該地域における育成すべき人材像やそのために高等教育機関が果たすべき役割等について協議する。 	1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズの把握 地域ニーズをプラットフォームの活動に反映するため、プラットフォームの取組に対する自治体、事業者等からの意見聴取や地域住民を対象としたパブリックコメント等を実施する。 	1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 中期計画に基づく取組の検証及び改善 プラットフォームにおける活動の適切性を担保するため、毎年度に中期計画の達成状況等を点検・評価し、その結果を公表する。 	1回／年度

③ 産官学の連携強化

目標	<ul style="list-style-type: none"> 大学等、自治体、事業者等による共同事業の実施 	
	取組	活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント体制の構築 定期的に相模原・町田地域における災害リスクについて協議する。また、地域住民を対象とした防災教育プログラムを実施する。 	各1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 大学等間における教育連携 大学等において、単位互換制度を導入する。 	受講者数30名／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究 大学等、自治体、事業者等との間で、共同研究を実施する。 	1件／計画期間
	<ul style="list-style-type: none"> 共同FD・SD 大学等において、教育改善又は教職員の資質向上に向けた研修を共同で実施する。 	1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 共同IR 大学等において、学修時間や学修成果に関する共同IRを実施する。また、その結果に基づき、自治体、事業者等と教育改善に向けた協議を行う。 	1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の共同利用 教育又は研究を目的とした取組のために、大学等において施設 	1件／計画期間

又は設備を共同利用する。	
・人事交流 大学等、自治体、事業者等との間で、人事交流を企画又は実施する。	1回／計画期間

④ 多様な教育機会の提供

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象とした教育プログラムの実施 ・大学等、自治体、事業者等による教育プログラムの共同開発 	
	取組	活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携 大学等において、相模原・町田地域の高等学校、高校生又はその保護者を対象に、共同でのニーズ調査又は広報活動を実施する。 	1回／年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援活動 大学等において、相模原・町田地域の児童・生徒を対象とした公開授業、公開講座等を共同で企画・実施する。 	5件／年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座 大学等において、相模原・町田地域の住民を対象とした公開講座を共同で企画・実施する。 	10件／年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成支援プログラム 社会人を対象としたキャリア形成支援プログラムを大学等と事業者等が共同で企画又は実施する。 	1件／年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・就職セミナー 相模原・町田地域への就業支援を目的とした就職セミナーを大学等と事業者等が共同で企画又は実施する。 	1件／年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント 相模原・町田地域における学生、地域住民、企業等の交流を目的としたイベントを大学等、自治体、事業者等が共同で企画又は実施する。 	1件／年度

5. 事業評価

毎年度末に本プラットフォーム全体会議において、当該年度の事業進捗の確認と自己評価を行い、今後の方針等について整理する。なお、評価にあたっては下記の4段階の基準をもって行う。

S	目標を上回る顕著な成果が得られている。
A	目標に対する十分な成果が得られている。
B	当初の計画を概ね実行できているものの、一部に遅延、未達等の取り組みがあり、目標の達成に継続した努力が求められる。
C	当初の計画が実行できておらず、取組や目標に一定の見直しが必要である。